

## Model 21

内閣官房  
まち・ひと・しごと創生本部事務局次長  
／内閣府地方創生推進事務局審議官



らい  
**頼 あゆみ**  
Ayumi Rai

### Profile

- 平成元年・建設省入省(1種(法律区分)採用) 都市局都市計画課
- 平成4年・英国留学(論文を書いて1年の修士課程修了)
- 平成7年・～結婚、急性肝炎で入院
- 平成11年・～長女出産 育児休業(約1年)
- 平成13年・～長男出産 育児休業(約半年)
- 平成14年・国土交通省国土交通政策研究所主任研究官
- 平成18年・～夫の両親と同居  
・道路局道路交通管理課企画専門官
- 平成20年・河川局水政課水利調整室長
- 平成22年・(独)住宅金融支援機構(広報担当)
- 平成25年・国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道企画課長
- 平成26年・(独)日本高速道路保有・債務返済機構(監事)
- 平成28年・内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長／内閣府地方創生推進事務局審議官 地方創生に関する業務(広報、「生涯活躍のまち」、観光、都市再生等)

※経歴一部省略

## ワークもライフも

### 急性肝炎でワークライフ バランスに目覚める

男女雇用機会均等法ができて数年後、運良く建設省(当時)に採用していただきました。

結婚は係長のとき、阪神・淡路大震災で仕事も郷里も大変なことになる時でした。免疫力が落ちたせいか、1か月後に急性肝炎を発症して、入院とその後の自宅療養で1か月以上休みました。

職場に復帰してみると、私が何とかしなければと必死だった業務はしっかり進められていました。他方、自分の健康のことは自分で考え、自分で守るしかないと感じました。これをきっかけに、私は、今で言うところのワークライフバランスの大切さに目覚めたのだと思います。

### 育児にはたくさんの助けを 借りる

育児休業については、制度ができた後、省内の同職種の中で初めて出産したのが私だったので、後輩のためにもしっかり取ろうと決めていました。保育園のタイミングに合わせて、1人目で約1年、2人目で約半年取りました。残りの半年間は時短勤務も試してみました。

実は、最初の育児の終わり頃には仕事がしたいと思うようになりました。家や子供を中心とした生活だけが続けるのは大変で、自分に専業主婦は務まらないと分かってきたのです。

しばらくは研究所に置いていただき、育児と家事を夫と分担しました。上の子の小学校入学に合わせて夫の両親と完全同居。下の子のお迎えと家事は姑にお任せして、いわゆる行政の仕事に復帰しました。仕事と家事・育児を何とか両立できたのは、保育園と学童保育、そして何より、じいちゃん&ばあちゃんのおかげです。

子育ては大変で、理屈や努力だけではどうにもならないことも多いのですが、やはり子供は愛お

## サステナブルに!

しいし、たくさんの感動もあります。機会があれば、是非積極的に楽しんでほしいと思います。

### 介護スタート、 ようやく「主婦」になる

昨年、姑が脳梗塞で倒れました。認知症で要介護4の舅は、家ではほとんど姑が看っていたので大変です。その日は夫と私で病院に駆けつけ、夏休みで家にいた息子がデイケアから戻った舅を迎え、娘が夕食を作りました。その1か月後、今度は舅が倒れました。介護も家事も家族総出で、ケアマネさんやソーシャルワーカーさんにお世話になりながら、綱渡りのような毎日でした。その後、舅は他界しましたが、姑はリハビリ病院を経て自宅に戻ってきました。失語は残りましたが、要介護1まで回復し、今はデイケアに通ったり、言語聴覚士さんに来てもらって、リハビリを続けています。

私自身の家事や介護の負担は格段に増えたので、よく「家事手伝い」から「主婦」に昇格したと言っています。毎週、日曜の夜には、味の無い具たくさんスープを大鍋でたっぷり作ります。毎日少しずつ取り分けて違う味付けをして、おかずや娘と自分のお弁当にします。子供たちはもう立派な戦力です。平日の夕食はほとんど娘が作ってくれて、いつの間にかレパートリーを増やしています。

### やれることを一生懸命やる

仕事の方は、時代の流れもあって、随分と分不相応な立場に来てしまいました。同期から「らいちゃん、大丈夫か?」と心配されつつ、日々経験不足

を痛感し、アップアップしながらやっています。それでも、何とかなるさと開き直り、ここで踏ん張っていきたくと思います。そのためには、とにかくやれることは一生懸命やる、できそうにないことは早め早めに周りに相談するようにしています。

結局、仕事も家のことも、やれることをやる、続けられることをやる、一人で抱え込まないのが大切なのだと思います。そしていつも感謝すること。これからも、公私ともに楽しみつ、前向きに頑張っていきたいと思っています。



### 一日の タイムスケジュール例

- 5:30 起床、家族の朝食、娘と自分のお弁当作り
- 6:45 夫と一緒に出発(片道1時間半)
- 8:40 登庁、メールチェック、新聞に目を通す、大臣レクの準備等
- 10:00 会議
- 12:00 昼食、メールチェック、残りの新聞に目を通す
- 13:00 打合せ
- 14:20 大臣レク
- 15:00 永田町庁舎にある地方創生推進事務局に移動して、打合せ
- 17:00 8号館に戻って、メールチェック、資料整理、勉強、いくつかの10分程度の打合せ
- 18:40 退庁、会合
- 22:45 帰宅、翌日用の料理
- 23:30 入浴、就寝

### 女性職員へのメッセージ

女性であることのプラスもマイナスもありますが、プラスの方が少し多いという気持ちでやっていきましょう。それから、家庭、職場以外の三つ目の居場所を持つこと。一つが辛くなった時に、持ちこたえられます。